



船穂中校外行事シリーズ 第1弾



1年生 自然教室



1年生は、5月19日・20日、国立吉備青少年自然の家での自然教室でした。「仲間と協力し自然の中で絆を深めよう～思い出に残る自然教室にしよう～」というスローガンのもと、1泊2日の校外学習を行いました。ウォークラリー・キャンプファイヤー・野外炊事などの体験をしました。新しい仲間との体験学習は、どうだったでしょうか。家で、お話を聞いていただけたでしょうか。協力することの大切さ、きまりを守ることや時間を守ることの大切さなど、学校の授業だけでは学ぶことのできないものを学ぶことができた思います。実は2日目、全体の中で先生から厳しく注意を受ける、という場面がありました。しかしその話以降、みんなの動きが大きく変わりました。ちょっと意識するだけで、行動を変えることができるすばらしい1年生です。

学校に帰ってきてから書いた GB カードには、自然教室で見つけた、友達の良いところがたくさん掲示されています。この自然教室で学んだことを生かして、一人一人がより成長し、学級や学年のチームワークがさらに良くなることを願っています。



2年生 広島平和学習



5月17日に、2年生は、広島平和学習に行きました。学年スローガンは、「THE Peace World —ヒロシマの知らぬ苦しみ学んでいこう—」です。2年生に進級してから、平和学習を行ってきました。原子爆弾について、その被害について、机上では学習を重ねたうえで、広島平和学習に行きました。しかし、実際に広島原爆資料館で目にした、展示されている写真や遺品は、どれも教科書やパンフレットで見た物以上に、生々しく、悲惨で、被爆された方々の苦しみが伝わってくる悲しいものでした。平和学習のしおりの中にある「シンヒロシマノート」を完成させようと見学していたのですが、当日は、資料館を訪れる方がとても多く、係員に「メモせず進んでください」と声を掛けられてしまい、残念でした。平和式典は、折り鶴の貞子さんの像の前で行いました。学年みんなで、平和の祈りを込めて折った鶴を奉納し、全員で平和アピール宣言をしました。



資料館を出た後は、班別活動でした。それぞれの班ごとに、被爆資料がそのまま残っている本川小学校や、原爆ドームなどを訪れていました。



今ある平和が当たり前のもではないことを感じて帰ってくることができました。広島平和学習で学んだ平和への思いを、来年の沖縄修学旅行につなげていってほしいと思います。